

令和6年度

私費外国人留学生入試

【 人間学群 心理学類 】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題 1 (英語)	<p>1. 「小論文」問題 1 (英語) 出題意図、採点要領</p> <p>1-1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文は、2023 年に Nature に掲載された、Mariana Lenharo による「Morality is declining, right? Scientists say that idea is an illusion」の一部を抜粋・改変したものである。本誌では一般対象者向けに学術的見解を紹介している。問題文は、多くの人が感じる「昔は良かった」という感覚について、実際はモラルの低下は生じていないことを調査研究をもとにして明らかにした研究内容であり、文章の難易度の面からも、外国人受験生にとって適切なものになっていると判断し、選定した。</p> <p>問 1 は、問題文の調査研究についての記載部分から、世代間で実際にはモラルに差がないことを示した結果について、該当する英文の理解と、日本語による表現力を評価することを目的としている。</p> <p>問 2 は、受験者が本記事の内容を正確に理解したうえで、問いの意図を理解し、自分の意見を明確かつ論理的に、適切な日本語でまとめられるかどうかを評価することを目的としている。</p> <p>1-2. 採点要領</p> <p>(1) 試験問題は日本語と合わせて 90 分で、辞書の持ち込みは許されていない。</p> <p>(2) 問題は全部で 2 問ある。英文を題材として、英語の読解能力および日本語による論述能力を問う問題である。</p> <p>(3) 各問の問題文、採点基準、解答例は以下に示す通りである。</p> <p>問 1 どのような調査と結果から、世代を超えてモラルの程度に差がないことが示されたか、150 字以内で説明しなさい。</p> <p><採点基準></p> <p>(1) 対象とした研究が、10 年以上の間隔で少なくとも 2 回調査をおこなったものであることが述べられていること。</p> <p>(2) 過去と最近の調査結果の間で、同世代のモラルの程度の評価には差がなかったことが述べられていること。</p> <p>(3) 適切な日本語が用いられていること。</p> <p><解答例></p> <p>現在の自分や同世代のモラルの程度を、10 年以上の間隔で少なくとも 2 回調べた研究を集め、時間経過に伴うモラルの変化を調べた。モラルが時間経過とともに低下するならば、昔よりも最近の調査結果のほうが低い評価になるはずだが、研究の結果、被験者が評価した同世代のモラルの程度は、時代が変わっても変化しなかった。(150 字)</p> <p>問 2 下線部の理由を本文の内容に即してまとめるとともに、このようなバイアスを持つことによる問題点について、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。</p> <p><採点基準></p> <p>(1) 本文の内容を正確に理解し、世代間のモラル低下バイアスが (a) 広く浸透していること、(b) 集団間バイアスによるものでないようなことこの 2 つの点について、理由を適切に説明できていること。</p> <p>(2) (1) を踏まえた上で問題点に対して適切な内容が論じられている</p>

こと。

(3) 論理的で、首尾一貫した明晰な記述がされていること。

(4) 適切な日本語が用いられていること。

<解答例>

モラルが時を経るにつれて低下していくと人々が感じるバイアスは、US や他の 59 か国における研究で一貫して観察されていることから、広く浸透したものである。そして、これは自分の属する集団の過去と現在の話であることから、集団間バイアスによるものではない。むしろ、昔の悪い記憶は良い記憶よりも早く忘れやすいという記憶のバイアスや、人間性に対する悲観主義などによるものであると考えられる。このようなバイアスによる問題点は、実際には存在していないモラルの低下という問題について、人々が歪んだ視線で次世代の行動を見てしまうことである。それにより、「モラルが低下した若い世代の人には何を言ってもわかってもらえない」と、理解の共有をあきらめてしまったり、攻撃的な態度をとったりするようなことが生じてしまう可能性もある。このようなバイアスをなくすことで、世代間の違いについてより適切な理解と関係性の構築が可能となるだろう。(400 字)

「小論文」問題 2 (日本語)

2. 「小論文」問題 2 (日本語) 出題意図、採点要領

2-1. 問題文の選定・出題理由

この文章は 2015 年に刊行された箱田裕司氏・遠藤利彦氏の『本当のかしこさとは何か—感情知性 (EI) を育む心理学』の内容を抜粋、一部改変したものである。本書は自他の感情を正しく把握し、適切に対応する能力である「感情知性」を主題としたものである。EI (emotional intelligence) は、認知機能の高低である IQ と比較して近年注目をされているものであり、幸福感や学業成績ひいては職業的成功ともかかわることが明らかになってきている。本書は、そうした EI について、歴史的な発展の経緯や測定および実験の方法、国内外のプログラムについて詳細に説明を行っている。さらに、感情にまつわる様々な能力的な側面である EI が認知能力との対比でどのように重要なものであるのか、また、いかに人間社会において重要であるのかを論じている。本書は EI の重要性について、一般の読者向けの書籍としてわかりやすく記述されている一方で、大学で学ぶ専門的・学術的な記述にも近い文体である。そのため、心理学類に入学を希望する留学生の国語力を問うのに適していると考え、問題文として選定した。

問 1 は、本文で紹介されている『ベル・カーブ』と『感情知性』の 2 冊の書籍のうちどちらが人々に受け入れられたのかを確認し、その理由を問うことで、議論の流れおよび論旨を読み取る日本語の読解力を評価すること目的としている。本文を正しく理解できていれば、本文に記載されている内容から正解を導くことができる。

問 2 は、「能力としての EI の 4 つの要素」という点について、それぞれの要素を理解できているのかという日本語の読解力を評価し、「真の社会的成功や幸福において EI がなぜ重要となりうるのか」という文脈において EI の機能についての受験生の考えを問う問題である。論理的思考の展開力、論述における論旨の明確性、論理性、および論述力を評価することを目的としている。

2-2. 採点要領

(1) 解答時間は、外国語と合わせて 90 分間である。辞書の持ち込みは許されていない。

(2) 問題は全部で 2 問ある。日本語の文章の理解と、その内容に関する自分自身の考えを論述する能力を問う問題である。

(3) 問題文、配点、採点基準、解答例は以下に示すとおりである。

問1 下線部について、『ベル・カーブ』と『感情知性』のどちらがより人びとのハートを掴んだか明示し、その理由を100字以内で説明しなさい。

<採点基準>

- (1) 正しい書籍(『感情知性』)が選択されていること。
- (2) 1. EIの後天的な獲得性、2. 社会的成功や幸福との関連、3. 弱者に希望を与えたり平等主義的な観点を人々に与えたこと、の3つの観点が記載されていること。

<解答例>

『感情知性』である。なぜなら、個人の努力などにより後天的に獲得可能であるEIによって真の社会的な成功や幸福がもたらされ、社会的な弱者であってもその状況から抜け出しうる可能性を人々に示したからである。(99文字)

問2 真の社会的成功や幸福においてEIがなぜ重要となりうるのか、能力としてのEIの4つの要素に触れながらあなたの考えを300字以内で述べなさい。

<採点基準>

- (1) EIの4種の下位要素のそれぞれに触れていること。具体的には1. 感情の把握、2. 把握した感情を意思決定・問題解決に活かすこと、3. 感情の間の関係の理解や感情の発生原因の理解、4. 自身・他者の感情のコントロール、といったことのそれぞれが記述されていること。
- (2) 真の社会的な成功や幸福な人生に、前述の要素が直接的・間接的につながっていることが論じられていること。
- (3) 論理的で、首尾一貫した明晰な記述であるか。
- (4) 日本語として適切な文章であるか。

<解答例>

幸福な人生のためには、円滑な人間関係が必要だと思われる。円滑な人間関係のためには、まずコミュニケーションの中で他者や自分がどのような感情の状態であるかを把握できなければならない。さらに、例えば相手が悲しんでいると感じたときに、その感情を想像し、慰めることが相手の求めていることだと判断できる必要がある。また、悲しみが時に怒りも伴うことなども理解し、相手が悲しみや怒りを感じていても、それをなかつたことにするのではなく、慰めたりして落ち着いた状態にもどすことができる必要がある。こうしたEIの要素がうまく実行できないと、人を怒らせたり悲しませたりしてしまい、孤立した不幸な人生につながってしまう。(298文字)